| 科目名 | 産業財産権 | 英語科目名 | Industrial Property Rights |
|---|---|---|---|
| 開講年度・学期 | 平成２３年度前期 | 対象学科・専攻・学年 | 全専攻・１年 |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 必修 |
| 単位数 | ２単位 | 単位種類 | 学修単位（１５＋３０） ｈｒ |
| 担当教員 | 小林　一光 | 居室（もしくは所属） | 機械工学科棟２階 |
| 電話 | 0285-20-2203 | E-mail | kkobayashi@oyama-ct.ac.jp |

| 授業の達成目標 | 授業達成目標との対応 | | |
|---|---|---|---|
| | 小山高専の教育方針 | 学習・教育目標(JABEE) | JABEE基準要件 |
| １．工業技術に関する設計・製作・評価において得られた新しい発想やアイデアを提案できること. | ② | Ｂ－３ | （ｅ） |
| ２．知的所有権とするまでの過程を習得し、特許取得を意識した技術開発を目指す能力を身につけること. | ④ | Ａ－３ | （２－ｃ） |
| | | | |
| | | | |

**各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法**

１．～２．課題に対する報告書提出と質疑応答能力で評価する.
１．～２．演習問題に対する提出レポートの内容を設定水準で評価する.

**評価方法**

演習問題・課題に対する報告書（５０％）と口頭試問（５０％）で評価し、総合評価６０％以上を合格とする.

| 授業内容 | 授業内容に対する自学自習項目 | 自学自習時間 |
|---|---|---|
| １．発明と特許について | 「第１章　発明と特許」を読み、特許制度を理解する. | ４時間 |
| ２．ＴＲＩＺの理解と実践 | 周囲の技術課題を探し、ＴＲＩＺを駆使してアイデアを抽出する．これをベースにして特許化を考えていく. | ８時間 |
| ３．発明 | 特許を受けようとする発明を検討する. | ４時間 |
| ４．特許情報の調査 | 特許調査計画を立てる. | ４時間 |
| ５．調査 | 自分の発明が、特許となるかどうか、特許調査を実施し、特許マップを完成させる. | ８時間 |
| ６．特許出願手続き | 特許出願の内容をまとめる. | ８時間 |
| ７．出願書類の書き方 | 出願書類を揃えてみる. | ８時間 |
| ８．出願から登録まで | 教科書「第４章　出願から登録」を読み、内容を理解する. | ４時間 |
| ９．外国での特許取得 | 教科書「第５章　外国での特許取得」を読み、内容を理解する. | ４時間 |
| １０．特許戦略・特許の歴史（特許庁前審査官来校） | 自分の発明特許の見直し | ４時間 |
| １１．特許以外の産業財産権制度 | 教科書「第６章　特許以外の産業財産権制度」を読み、内容を理解する. | ４時間 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 自学自習時間合計 | ６０時間 |

| | |
|---|---|
| キーワード | 知的財産権、技術開発と特許、特許調査、特許出願・登録 |
| 教科書 | テキストを配布する.（経済産業省特許庁監修　産業財産権標準テキスト　特許編） |
| 参考書 | 必要に応じて指定する. |

**カリキュラム中の位置づけ**

| | |
|---|---|
| 前年度までの関連科目 | 各専攻コース専門科目 |
| 現学年の関連科目 | 各専攻コース専門科目、実務研修、特別研究 |
| 次年度以降の関連科目 | 特別研究 |

**連絡事項**

・　試験は実施しない
・授業方法は講義を中心とし、特許出願に沿った演習を課し、提出と質疑応答を求めます.

| シラバス作成年月日 | 平成２３年２月２８日 |
|---|---|